



TAKASAGO

高砂市 議会だより

発行
高砂市議会
〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1-1-1
TEL(079)442-2101内(4330)
(079)443-9051(直通)
編集:市議会だより編集委員会

第149号
2008年(平成20年)11月



市ノ池公園

← 主な内容

2008年
9月
定例会

- ② ページ
9月定例会のあらまし
議案概要
- 9月定例会の日程表
- ③ ～ ⑤ ページ
議会の新しい構成
正・副議長あいさつ
特別委員会等
常任委員会
議会選出各種委員等
- ⑤ ～ ⑨ ページ
一般質問
- ⑩ ページ
意見書
西港再整備等に係る
調査特別委員会
人事

9月定例会のあらまし

9月定例会市議会は9月8日から9月25日まで、18日間開催しました。

冒頭、市長から今期定例会に提案された議案の提案理由の説明がありました。続いて、西港再整備構想調査、PCB固化汚泥等に係る調査のため「西港再整備等に係る調査特別委員会」(委員会名簿別掲)を設置し、閉会中の継続調査にすることをしました。

例年9月定例会では議会の構成が変わりません。正副議長の選挙をはじめ、各委員会委員、各役員の選任を行い、新体制のもと提案された各議案を審議しました。

今期定例会では当初に報告議案10件、事件議案3件、条例議案5件、予算議案8件の26議案について提案があり、併せて、請願1件、陳情3件についても質疑を行いました。

委員会審査においては、本会議の議案質疑で出された論点も含めて、専門的な立場から深く掘り下げた議論を行いました。

最終日には委員会に付託された各議案についての委員長報告と討論採決を行いました。続いて、平成19年度各会計決算認定、監査委員選任などの追加提案があり、決算認定については、提案に伴って設置した決算特別委員会に付託して閉会中の継続審査することとし、今期定例会の議案全ての審議を終了しました。

今定例会での議案概要

可決した条例議案等

- 高砂市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- 議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例及び高砂市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例
- 高砂市市税条例の一部を改正する条例
- 高砂市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 高砂市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 高砂市議会会議規則の一部を改正する規則

その他の議案

可決

- 土地の取得について
- 損害賠償の額を定めることについて
- 高砂市土地開発公社定款の変更について

同意

- 監査委員を選任するにつき同意を求めること
- 公平委員会委員を選任するにつき同意を求めること

補正予算案の主な事業

- アスベスト対策事業

継続審議とした議案

- 平成19年度高砂市一般会計歳入歳出決算認定
- 平成19年度高砂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成19年度高砂市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成19年度高砂市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成19年度高砂市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成19年度高砂市水道事業会計決算認定
- 平成19年度高砂市工業用水道事業会計決算認定
- 平成19年度高砂市病院事業会計決算認定
- 平成19年度加古川市、高砂市宝殿中学校組合歳入歳出決算認定

請願・陳情

- 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める請願 **採択**
- 「金融庁の貸金業者に対する指導を求める意見書」提出に関する陳情書 **採択**
- 「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情 **不採択**
- 法定道路認定に関する陳情書 **継続審議**

平成20年9月 定例会市議会日程表

会期

9月8日(月)～9月25日(木)
18日間

25日(木)	24日(水)	23日(祝)	22日(月)	21日(日)	20日(土)	19日(金)	18日(木)	17日(水)	16日(火)	15日(祝)	14日(日)	13日(土)	12日(金)	11日(木)	10日(水)	9日(火)	9月8日(月)
委員長報告、 討論採決、閉会	各常任委員会 審査	休会	各常任委員会 審査	休会	休会	一般質問	質疑、委員会 付託	質疑、委員会 付託	諸報告、質疑、 委員会付託	休会	休会	休会	休会	休会	休会	議長の選挙ほか 委員の選任等	開会、諸報告、 市長の提案理由 の説明、諸報告

議会の新しい構成きまる



議長 中須 多門
市議当選 8回



副議長 横山 義夫
市議当選 3回



監査委員 池本 晃
市議当選 8回

正・副議長あいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、9月定例会におきまして、議員の皆様方のご推挙をいただき、高砂市議会の正・副議長に就任させていただくことになりました。私達にとりまして、誠に身に余る光栄なことであるとともに、その職務の責任の重さに、身が引き締まる思いを、心から感じているところであります。

さて、地方自治体を取り巻く情勢は、非常に厳しいものがございます。本市におきましては、高砂市民病院の経営健全化及び行財政改革を積極的に推進しておりますが、財政状況は依然として厳しい状況にあります。

このような中、議会の機能を十分に果たし、「明るい住み良いまちづくり」のため、当局と相協力し、全力で取り組んで参りますので、市民の皆様方には、市政の推進に対し、格別のご支援のほどお願い申し上げます。就任のこあいさついたします。

議長 中須 多門
副議長 横山 義夫

特別委員会等

委員長 副委員長

議会運営委員会

今竹大祐
小松美紀江
井奥雅樹
福元昇
生野誠一
北野洋
橋本芳和
西野勝

環境保全対策特別委員会

北畑徹也
入江正人
松本均
三上秀昭
木谷勝郎
大塚好子
橋本芳和
鈴木正典

決算特別委員会

砂川辰義
藤森誠
秋田さとみ
福元昇
北野誠一郎
鈴木正典

市議会だより編集委員会

鈴木正典
入江正人
北野誠一郎
八田美津子
大塚好子
北畑徹也
井奥雅樹
三上秀昭

会派代表者

入江正人
小松美紀江
砂川辰義
西野勝
生野洋
鈴木利隆
近藤清隆

常任委員会

委員長

副委員長

総務



松本 均
(市民クラブ)



井奥 雅樹
(市民ネットワーク)



入江 正人
(政和会)



藤森 誠
(政友会)



小松 美紀江
(日本共産党)



横山 義夫
(民主クラブ)



砂川 辰義
(公明党)



三上 秀昭
(民主クラブ)

文教厚生



近藤 清隆
(民主クラブ)



八田 美津子
(公明党)



池本 晃
(政友会)



大塚 好子
(日本共産党)



鈴木 利信
(市民ネットワーク)



秋田 さとみ
(市民ネットワーク)



中須 多門
(政和会)



西野 勝
(平成会)

建設経済



北野 誠一郎
(無所属)



福元 昇
(民主クラブ)



今竹 大祐
(政和会)



生嶋 洋一
(政友会)



北畑 徹也
(政友会)



木谷 勝郎
(市民ネットワーク)



橋本 芳和
(公明党)



鈴木 正典
(平成会)

議会選出各種委員等

職名	人数	委員名
議会推薦農業委員会委員	3	原 昇 一 伏 野 義 勝 原 富 一
高砂市交通安全対策会議委員	1	中 須 多 門
環境保全協議会委員	2	北 畑 徹 也 北 野 誠一郎
東播臨海救急医療協会理事	1	近 藤 清 隆
加古川歯科保健センター運営協議会委員	1	近 藤 清 隆
東播磨農業共済事務組合議会議員	2	北 畑 徹 也 鈴 木 利 信
高砂市社会教育委員	1	松 本 均
国民健康保険運営協議会委員	5	藤 森 誠 大 塚 好 子 木 谷 勝 郎 橋 本 芳 和 大 福 元 昇
民生委員推薦会委員	2	池 本 晃 近 藤 清 隆
高砂市都市計画審議会委員	5	生 嶋 洋 一 小 松 美 紀 江 砂 川 辰 義 三 上 秀 昭 西 野 勝
高砂市土地開発公社監事	1	井 奥 雅 樹
財団法人高砂市勤労福祉財団評議員	1	中 須 多 門
高砂西港再整備推進協議会委員	1	中 須 多 門

一般質問

地域活性化に向けた まちづくり政策について ほか

砂川 辰義

問 今年の第169回通常国会で、地域活性化に向けたまちづくり政策を推進するための法整備が拡充された。その一つに「歴史まちづくり法」がある。高砂市には、旧入江家、時光寺古墳、石の宝殿をはじめ神社仏閣には多くの文化財がある。この国による支援策を活用して地域活性化に向けたまちづくりについてどのように考えているのか伺いたい。

答 既に文化庁から「文化財総合的把握モデル事業」の委託先として全国20箇所内の一つに選定されており、平成22年度に「歴史文化基本構想」の策定を予定している。これが「歴史まちづくり法」に規定する「歴史的風致地区維持向上計画」の前段階に当たると考えており、項目設定、エリア設定等を進めていきたい。

問 今年度の焼却炉の広域化について、焼却炉への影響について伺う。また、稼働年数への影響は。

答 改善・補修については、当初の性能を確保するためのものであり、焼却炉に与える影響はごみ量・ごみ質・維持補修状況・運転状況等が大きな要因と考える。稼働年数は、適切な維持管理を行うことにより15年から20年の稼働が可能と考える。

問 社会が高齢化の時代を迎えて、杖をついて墓参りされる姿が増加した。一部の通路は舗装されているが大半がじりり舗装のため杖をついて歩く方や車椅子での通行は困難そのものです。車椅子を両側から抱えて、墓地の通路まで抱え上げていく姿もあります。また、車椅子で墓参りがしにくいため、墓前まで行かずに自動車の前で待つという姿もあります。

答 国はダイオキシン類の削減や施設整備費の縮減の観点からごみの広域的処理を求めている。将来的な展望としてごみ焼却炉の広域化について伺う。

問 現在の焼却炉は、本格稼働以来、様々なトラブルが発生している。その

答 既に文化庁から「文化財総合的把握モデル事業」の委託先として全国20箇所内の一つに選定されており、平成22年度に「歴史文化基本構想」の策定を予定している。これが「歴史まちづくり法」に規定する「歴史的風致地区維持向上計画」の前段階に当たると考えており、項目設定、エリア設定等を進めていきたい。

問 国はダイオキシン類の削減や施設整備費の縮減の観点からごみの広域的処理を求めている。将来的な展望としてごみ焼却炉の広域化について伺う。

答 国はダイオキシン類の削減や施設整備費の縮減の観点からごみの広域的処理を求めている。将来的な展望としてごみ焼却炉の広域化について伺う。

問 公園墓地の墓域の増設とバリアフリー化について

答 公園墓地のバリアフリー化については、墓域の増設については、候補地及び事業概要について検討中である。

高砂西港PCB汚染汚泥盛立問題は 企業・国・県の責任の明確化を ほか

小松 美紀江

問 市が主催した住民説明会で、市民からは「責任は許可した国と企業にある。技術的な問題、費用の負担など国に強く要望し、1日も早く撤去してほしい」などの発言がありました。汚染者負担の原則から企業の責任、規制もとらず放置してきた国、県の責任を市長は強く要請し市民にも明言すべきではないでしょうか。

答 恒久対策の事業主体は盛立地の所有者であり、責任は企業にもあると考えている。国の意向は地元の方で対応してほしいという姿勢であり、市としては、できるだけ安全・安心の対策を講じるべく、県が設置した高砂西港再整備推進協議会の中に積極的にかかわっているところである。市も県も責任を持って、最も有効で現実的な対策を検討している。

問 西港整備をなぜ今急ぐ必要があるのか

答 公共事業には費用対効果とも言われますが、企業の利用見込みが不透明

であり、徹底した底質調査と安全の確保なしに計画すべきでなく、市民全体の利益になるのか再検討すべきではないでしょうか。

答 港湾の整備は臨海部企業等の活性化だけでなく、環境負荷の軽減や水際の開放にもつながると考えている。

これらの実現は、高砂市全体、すなわち市民全体の利益、企業全体の利益につながることも考えている。

問 災害対策を優先した開発の見直しを

答 市は住民の安全・安心の住環境にどのような認識を持ち開発業者との事前協議をしていますか。兵庫県開発許可制度の運用基準及び高砂市開発指導要綱に基づいて指導を行っている。特に開発区域及び隣接地域等を安全な状態に保全するため、過去の災害や今後起こり得る災害等を勘案し、各関係部と連携を図り、災害に遭いにくく、起こりにくくなるよう開発指導を行っており、開発区域に関係する自治会、利害者等とも十分協議し、

調整を図るよう事業者に対して指導を行っている。阿弥陀保育園・幼稚園の一体化について費用の削減、コスト負担の現場の声を十分に聞き、子どもの利益最優先の保育行政を求めますが。
答 小学校就学前の子供に対する教育及び保育を総合的に推進するなかで、子ども最善の利益を考慮し、保育行政に当たっている。
問 地球温暖化防止策について
答 地球温暖化対策推進法第4条における市内企業に対する温暖化防止の促進を図るための情報など推進状況をお示し下さい。
答 国、県の助成制度や家庭でできる地球温暖化防止対策などの情報をホームページ等を通じて提供していく。
問 市は地域推進計画の策定を具体的に現在どのように進めていますか。
答 平成23年度策定に向け、計画書に盛り込む項目の整理、立案を進めている。

介護保険制度の改善と 介護現場の人材確保について ほか

大塚 好子

来年は介護保険が改定されます。誰もが安心して利用できる公的介護保険制度にするために4点質問します。

問 現在七千万円の黒字で介護保険料の引き下げを求めます。
答 ご指摘のとおり現段階で約七千万円となる見込みだが、高齢者1人当たりの換算では近隣市町と比較すると5分の1から7分の1の金額である。また、サービスの利用者は順調に増加しており、今後3年間の利用状況やグループホーム等の整備を含め、第4期の保険料設定について検討していきたい。

問 介護保険料を所得に応じた額に細分化し多段階にし低所得層の軽減を図ること。
答 平成21年度からは、この段階を増やす中で基準保険料の緩和を図っていく。

問 提供するサービスの切り捨ては、機械的に「ご本人、ご家族、医師の意見を反映し、サービス事業者やご家族を交えた担当者会議により、ケアマネジャーが適切なサービスの提供をケアプランに組み込んでいく。」
答 2市2町で6億円かけて整備した介護サービス情報の利用が1割程度、活用されているのでしょうか。

問 まだまだ十分に利用されていないが、今後、在宅福祉を推進していく上で大きな課題となっているターミナルケアにおいては、医療と介護の密接な連携は不可欠であり、より一層の利用促進を図っていただきたい。
問 介護報酬が大幅に引き下げられ、介護施設など経営困難に陥っています。介護労働者の労働条件はますます過酷になり低賃金、劣悪な待遇で人材不足は深刻です。命の尊厳を守る事にふさわしい身分保障をするため国庫負担を増し介護報酬の引き上げを国に求めること。
答 適切な人材を確保するための環境整備、適切な介護報酬の設定というような内容で要望している。

問 主任ケアマネジャーの育成を市が責任を持つて行うことを求めます。
答 包括支援センターとより一層の連携を図ることにより対応していく。

問 市民病院の経営改善について
答 職員数の半数を占める看護集団が改革の先頭に立って診療報酬の改定で在院日数が短縮され、重症のままで在宅療養される人が多くなっています。退院前後訪問や訪問看護、訪問リハビリの実施を考えては。
答 セラピストによる訪問リハビリもあわせて必要に応じて検討していきたい。
問 今年から始まった特定健診の実施は。
答 公立病院に健診機能を持たせることは、医師不足の現状により困難である。今後は人間ドックに健診機能を追加する形で検討していく。
問 全国一斉学力テストについて
答 学校現場を点数競争に駆り立て税金のムダ遣いであると日本共産党は指摘してきました。毎年62億円あれば約3千人程度の教員を増やせてゆきとどいた教育ができます。学力テスト中止を国に求めることと来年は参加しないことを求めます。
答 平成21年度以降も全国学力・学習状況調査を利用・活用する予定である。

阿弥陀小学校新設に伴う 学校施設の基本構想について ほか

福元 昇

問 この度の阿弥陀小学校の移転改築事業は、学童保育を含めた学習環境・生活環境の改善や災害時の避難場所としての位置づけならびに地域とのかかわり等これからの学校施設のあり方について一定の方向性を示し、これを設計に反映すべきと考えますが、市長ならびに教育長の見解をお伺い致します。

答 基本的なコンセプトとして、児童・教職員はもろろん来校者にも快適で、障害者にもやさしい施設。地震や風水害等の自然災害に対して強く、地域防災の拠点となるような施設。地域のコミュニティにも対応できる施設。地球環境に配慮した施設。ITのさらなる技術革新や設備ニーズも対応できる施設。卒業生からもちいまでも思い出として永く心に残る施設。以上の6項目を主眼において、限られた財源の効率化を図りながら地域から愛される施設を目指

す。なお、学童保育所については敷地内に所定の面積の建物を建設できるスペースを確保できるように、配置計画に反映させたい。

問 山陽電車南側地区へのコミュニティバスの運行について

答 山陽電車の南側地区には、従来よりバス路線が無く、コミュニティバスの運行を望む声が多く聞かれます。

山陽電車の北側地区から南側地区を経由するルート変更であればバスを増やさなくても対応できるものと考えますが、当局の見解をお伺いします。

答 高砂市地域公共交通会議を平成20年度も2月頃に開催する予定をしており、ルートの見直しについても検討し、山陽電鉄南側の運行についてもあわせて協議検討していく。

問 休日・夜間窓口の早期開設について

休日・夜間窓口の開設については、以前より

市民から要望されており、一日でも早く開設すべきと考えます。

休日・夜間で対応可能な窓口業務の絞り込みを行い、平成21年4月に予定している組織改革の実施と同時に本庁に休日・夜間窓口を開設することが、市民サービスの向上につながると考えますが、市長の見解をお伺いします。

答 土曜日、日曜日のどちらか、あるいは一定時間内に本庁1階部分を開庁し、現サービスコーナーでの業務のうち休日に可能な業務を行い、市民サービスの向上を図っていく。なお、時期については、平成21年度中を目途に実施をしたい。

公平公正な社会とは ほか

松本 均

問 大分県では教員不正採用事件で、県教委幹部職員や校長などの逮捕者が続いている。県内某市でも市職員採用に絡んで、現職市議が受験者親族から謝礼を受けておつたという事由で、所轄警察署に刑事告発されている。最近、公共事業に關連して競争入札妨害や贈収賄事件などで、首長や幹部職員、政治家などの不祥事の報道も多い。このような醜い権力者が市政に介入し横行する隙はないと信じたいが、公平公正を旨とされる登市長には市政担当として決意のほどを伺いたい。

答 職員採用だけでなく市政全般について市民の信頼を失ふことのないよう公平公正な市政運営を基本理念に推し進めていく所存である。

問 農水省の無責任と怠慢から高濃度の農薬やカビに汚染された本来工業用に米が、食用として転売され、日本酒、和菓子、せんべいなどの原材料となっていた。病院、老人保健施設、保育園などの給食にも提供

されたとの報道もあり、この騒動で市民も不安を感じておられる。本市の市民病院、小学校、幼稚園、保育園などの給食の食材の安全性について伺いたい。

答 市民病院の給食については、治療の一環として位置づけ、その食材の安全性、衛生状況の確保については細心の注意を払い管理栄養士による使用前検査を実施しており、今回の汚染米についても購入実績はない。

保育所については、冷凍食品は使用しておらず、生鮮食品についても購入業者へ指導を行い、調理師が確認し、できる限り国産のものを使用している。

小学校については、基本物資を除き全小学校使用物資を、高砂市学校給食会の物資購入委員会で審査、選定し、一括購入している。受領の際には給食室で品質、鮮度、量等について検収を確実にしている。米については、兵庫県学校給食総合センターから、JA兵庫南管内で生産された「ひのひかり一等米」を購入して

おり安全性に問題はない。副食の食材は、できる限り規格を国内産と指定して購入しており、青果物等は、できる限り兵庫県内産を指定して購入している。

幼稚園給食については、小学校同様に品質、鮮度に留意しており、米についても、納入業者に、安全性の確認をしている。

問 少子高齢化が進むなか「警察白書」によると反比例するかのよう少年犯罪が多発しているという指摘もある。少年の非行や犯罪を抑制し、健全な育成を図るために街頭活動で苦勞されるボランティアの補導員さんの姿は拝見しているが、他市の青少年補導センターでは、警察OBが活躍をされ高い評価を受けている。青少年を取り巻く環境は決して良くなっているとはいえない。他市の状況を参考にされ、所轄警察署とも連携を図り、補導センターの体制強化を検討されたい。

答 他市の補導センターでの警察OBの配置状況等の実情把握をして、今後の参考にしたい。



熟議型民主主義を市政にノ 学童保育のクーラー設置は ほか

井奥 雅樹

徹底的に議論をする「熟議型民主主義」を

登政権は情報公開や市民参加、市政の透明性にまことと不熱心ではないか。徹底的に議論をする「熟議型民主主義」こそ今の市政に求められています。数を頼みにした民主主義では困ります。

問 PCB盛立地問題の住民説明会も「聞くふり」に終わっているのではないか。

答 市民の皆様から頂いたご意見については、西港再整備推進協議会に報告し、協議内容、結果についてもフィードバックしたい。

問 各種委員会でも傍聴人への資料配布、傍聴人の発言など先進事例を学ぶべきではないですか。

答 高砂市民意見公募手続きを制度化しており、現在までに5件パブリックコメントとして実施している。公開可能な審議会等についても、情報公開条例の趣旨に基づき、本年7月よ

りホームページ等において周知しており、情報の共有化を図っていきたい。

各種協議会こそ事業仕分けをすべき

問 ほぼ同じメンバーで、年一回の総会やイベント、上部団体とのつきあいというところでエネルギーと予算を使う協議会のあり方を変えるべきでは。具体的には事業仕分けの対象とすべきでは。

答 市が設置する協議会については、その趣旨・目的を考慮したうえで、メンバーの重複について可能な限り配慮していきたい。

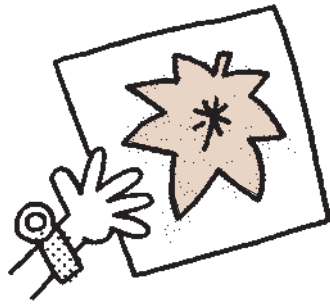
問 岡市長の施政方針演説にもあった「総合政策審議会」はどうなっているのか。また、小学校区単位程度の「地域総合政策審議会」で整理しては。

答 現在のところ、設置する考えは持っていない。市政のより効率的で機能的な運営を図るため、どのようなシステムがいいのか、調査研究はしていきたい。

学童保育のクーラー設置は

問 暑かった夏、私も視察にも二校を訪問したが子どもたちの環境は良くなかった。市長と教育長の視察成果は、また対応策としてクーラー設置は。

答 財政的な問題もあるので、今後、NPO法人、高砂キッズ・スペース等と協議し、永年の懸案事項として位置づけられているクーラーの設置についての解決に努めたい。



自治会支援について ほか

三上 秀昭

問 自治会と市のやり取りは多く、その窓口は多岐に渡っている。市のそれぞれの組織から見れば各地区の自治会は一つだが、自治会から見れば市の窓口は多数であり、自治会への行政窓口の一元化の考えはないか。

答 自治会が担う業務に係する市の部局は多岐にわたっていることから、ワンストップサービスでの対応は難しい。できる限り、市民活動推進課が窓口となつて対応していくが、関係業務をわかりやすく、マニュアル化をして、その不便の解消に努めたい。

問 自治会内での印刷物は、枚数と回数でコストも掛かり、限られた予算の中で苦労している。自治会等が利用できるような、作成から印刷、製本できるコーナーの設置に向けた考えはないか。

答 各公民館に公民館活動のため印刷機は設置しているが、製本機は設置していない。今後、要望等を聞きながら考えていきたい

問 地域では、ゴミ出しのマナーに苦労している。1年に1回市から配布している、ゴミの分け方、出し方以外にも、ホームページを利用したワンポイントアドバイスのようなピラを載せる考えはないか。

答 ごみ出しマナーについてはまだ周知も必要であり、地域差もあるので、啓発の方法等については、これまでの方法に加え、分別品目ごとの分け方・出し方を整理し、よくある質問等も加え随時ホームページに追加するなどして更なる啓発に努めていきたい。

また、個々の状況に応じ、自治会長、環境委員または隣保長と協議し、臨時の回覧、ごみステーションへの看板設置等を行い対応しているが、引き続き地域と協力して取組んでいきたい。

問 踏切内での安全確保から、拡幅と車と歩行者の分離する考えはないか。

答 踏切内での自歩道の分離には、周辺道路の整備や踏切の拡幅等も関係し多くの課題があり、具体的な対応として、通行車両及び歩行者への安全啓蒙活動を鉄道会社とともに引き続き行っていく。

問 地球環境にやさしい街づくりとして、幹線道路を自転車安心して通れる道路作りに向けた考えはないか。

答 歩道と自転車道の分離をした道路構成について、検討していきたい。



財政非常事態宣言を ほか

木谷 勝郎

問 財政健全化法に係る平成19年度決算に基づく比率で、連結実質赤字比率が県内唯一赤字となり、病院事業での資金不足比率が基準の20%を大幅に超える58.6%でした。病院の赤字への40億円の補助で一般会計の実質赤字が増大し、平成23年度にも健全化団体に陥る危険性があり、財政非常事態宣言をすべきではないか。

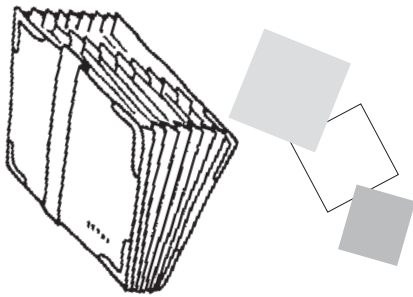
答 非常に強く危機感を持つており、今後、持続可能な財政運営をめざし、事業仕分けによる事業、補助金の見直し、人件費の見直し等を行い、「さらなる行財政改革」を徹底して進めていかなければならないと考えている。

問 市民病院の平成19年度末の資金不足26億7千5百万円について、平成12年度での2億6千5百万円と平成18年度から19年度までに発生した分の資本的要因分16億9千5百万円を一般会計で負担するとして、残り約7億1千5百万円は収益的収支に起因するもので病院に負担を求めざるべきではないでしょうか。

入院患者数と収益は対16年度比34%減少。外来患者数と収益は対16年度比40%も減少。しかし、職員数は同じなので、医療収益に対する給与費比率は平成16年度49%から19年度74%と悪化しました。自己資本比率も19年度にマイナス13.7%と債務超過になりました。責任の明確化が必要で収益的と資本的という赤字発生要因に応じた病院と一般会計の負担割合のルール化が必要ではないか。

答 一般会計からの病院事業会計への繰出し金については、総務省が定める公営企業への繰出し基準に沿って繰出しを行っている。現時点においては、病院事業会計の資金不足を解消することを最優先させて、一般会計からの財政出動を

していききたい。今から並行して経営形態の見直しを検討すべきではないでしょうか。総務省の「公立病院ガイドライン」では、基本的な考え方として、今後3年での経営の効率化、5年での再編・ネットワーク及び経営形態の見直しがそれぞれ示されており、現在年内での市民病院改革プランの策定に向け、鋭意取り組んでいるところである。



認知症の理解について ほか

鈴木 利信

問 認知症の理解を進めてほしいという市民の声があり、アルツハイマー型認知症の1ケースにつき具体的に話しました。認知症支援のために、姫路市は「認知症サポーター」の養成に乗り出した。「認知症サポーター」とは厚生労働省が呼びかけている「認知症サポーター100万人キャラバン」の一環であり、認知症の人に関する基本的な知識や接し方を学ぶようです。

答 高砂市も認知症の理解を進めるために、サポーターの養成など必要ではないかと考えますが、考え方は、認知症サポーターになるには、所定の研修を修了したキャラバン・メイクトが講師となり、自治体と協働して「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域でのサポーターを増やしていくものである。

当市においてはキャラバン・メイクトが現在5名となり、サポーター養成講座の開催に向けてキャラバン・

メイトを中心に準備を行っているところである。**問** また老老介護の現状と対策についてはどうか。**答** 高齢者の介護に関して、定期的なケース会議を開催し、その中で相談の寄せられた案件について関係機関で協議し、対応しているが、相談の無い事例については、民生委員さんや社会福祉協議会と連携し、相談の受けやすい状況を拡げていく方向で進めていきたい。

問 障がい者の就労支援について
答 高砂市の福祉的就労として、作業所等の現状と支援について、お聞かせください。

答 地方自治法の改正で障害者施設への優先発注が可能となったことから、市内の地域活動支援センターも加入しているNPO法人兵庫ヘルプセンターへ点字付き封筒の発注を行い、視覚障害者への連絡に使用している。さらに、庁内アンケートを行い、障害者施設

へ発注できる業務を把握し、次年度予算への反映ができるかを現在検討中である。**問** また作業所や施設で作られた作品を庁内に展示や販売するコーナーを設置するということはいかがでしょうか。**答** 県民局に圏域内の作業所諸作品を展示していた。

問 児童公園の整備について
答 ボール遊びのできる児童公園とするためには、外周フェンスだけでなく公園内にも区分する構造物が必要となる。

現在、児童公園に要する経費は老朽化した遊具等の修繕に費やされており、幅広い年齢層を想定したフェンス等のかさ上げは、費用面からも困難な状況である。

生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書

原油価格の高騰を受け灯油やガソリン価格も高騰し、その影響が製造業・農業・流通業など経済に深刻な影響を及ぼしている。

市民生活においても、生活必需品をはじめ食料品の値上げにより消費者物価全般に波及しようとしている。

長期間続いた景気回復期は、勤労者にとって実感がなく、反面この度の状況は直ちに日常生活に深刻な影響を及ぼしている。

特に生活困窮層にあっては「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」さえもが保障されなくなるおそれがある。

よって、政府においては、下記の事項について、早急に実現されることを強く要望する。

記

- 1 中低所得者層を中心とする所得税減税を行うこと。
 - 2 生活困窮者に対する補助金制度を創設すること。
 - 3 生活扶助基準に物価上昇分の上乗せを行うこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2008年(平成20年)9月25日

高砂市議会

金融庁の貸金業者に対する指導を求める意見書

近年、自治体において地方税等の滞納者が消費者金融会社や信販会社等の貸金業者に支払った過払い金の返還請求権を差押さえ、滞納分の返還に充てるシステムを採用している団体がある。

しかし、過払い金の差押さえには、取引履歴の開示が必要であり貸金業者の中には個人情報の保護を理由に、地方自治体等からの照会に応じない業者や、回答を引き延ばそうとする業者があり、滞納処分事務に支障が生じている。

滞納者の中には多重債務者も多く、地方自治体には救済のための相談窓口の設置も求められており、このシステムを積極的に推進することにより、地方税等の滞納の解消をはじめ、多重債務者の救済にも寄与すると考える。

よって、政府においては、下記の事項について、早急に実現されることを強く要望する。

記

- 1 地方自治体が、消費者金融会社等に対し市税等の滞納者の取引履歴等の照会を行った場合には、遅滞なく回答する等の行政指導を行うこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2008年(平成20年)9月25日

高砂市議会

本会議・委員会は

どなたでも傍聴できます。

高砂市議会の本会議、各常任委員会及び特別委員会はどなたでも自由に傍聴できます。

本会議の場合は傍聴席入口に、委員会の場合は委員会室前に備え付けた傍聴人受付票に必要事項を記入し、受付箱に投入していただきます。

本会議の内容については、市役所内のモニターテレビの中継や、市立図書館及び公民館に備えつけの会議録などで知っていただくことができます。またインターネットでの会議録検索や、DVD等による本会議映像の提供も行っております。

次の定例会は12月に開会の予定ですので、日程その他詳しいことは

443-9051(議会事務局)までお問合せください。

西港再整備等に係る調査特別委員会

西港再整備構想調査、PCB 固化汚泥等に係る調査を行います。

生嶋 洋一	井奥 雅樹
今竹 大祐	小松美紀江
横山 義夫	北野誠一郎
八田美津子	西野 勝
	委員長、副委員長

人 事

公平委員会委員を選任するにつき同意しました。

高砂市美保里

中井 征一